

教科名	吹きガラス I	曜日 時間	前期:木9:00-17:00 後期:月9:00-17:00 木9:00-15:00	担当教員名	Boyd Sugiki(前期・後期)
-----	---------	----------	---	-------	--------------------

		前期指導案		後期指導案	
（年間 4回 2授 業日）	4月	15	22	10月	7 11 14 18 21 25 28
	5月	6	13 20 27	11月	1 4 8 11 15 18 22 25
	6月	3	10 24	12月	
	7月	1	8 15	1月	
	9月		2	2月	
方授 法業	( 講義 ・ 実技 )			( 講義 ・ 実技 )	
授 業 内 容	<p>4/15- 4/22 安全面/ 新型コロナウイルス対策について ホットショップ内での仕事の仕方、道具の使い方、ガラスの巻き方、マーバー、ジャックなど。</p> <p>5/6- 6/3 ケーンの引き方、タンブラー、シリンダー、ボウル</p> <p>6/10 入れ物の制作: 幼少期の思い出からのインスピレーションから</p> <p>6/24- 9/2 細くなっていく形、くびれのある形、ボトル、薄く作る</p> <p>9/9 機能性のある形</p>			<p>10/7-10/18 タンブラー制作の向上(薄さ、視覚的)、シリンダー、ボウル、ボトル</p> <p>10/21-11/11 カラー、オーバーレイ、パウダー、ケーン、インカルモについて</p> <p>11/15 ゴブレット</p> <p>11/25 内部と外部</p>	
到達 目標	<p>タンブラー、シリンダー、ボウル、ボトルなどの形を形成するための、しっかりとした基礎を身につける。</p> <p>共同制作などを通して、チームワークもとりながら、技術習得に取り組む。</p>			<p>前期で習った基本的スキルの向上。</p> <p>カラーを使うなど、さらなる技術の向上。</p>	
成 績 評 価	<p>完成作品、クラスでの積極性、出席率、態度、スケッチブックの確認</p>			<p>完成作品、クラスでの積極性、出席率、態度、スケッチブックの確認</p>	
留 意 事	<p>ブローパイプの制作を行う。</p> <p>ポンテ、道具類、トーチ、クリアガラスを使用する。</p>			<p>ブローパイプの制作を行う。</p> <p>ポンテ、道具類、トーチ、クリアガラスを使用する。</p>	

# 授業計画書(シラバス)

教科名	吹きガラス I	曜日 時間	後期:月9:00-17:00 木9:00-15:00	担当教員名	中神牧子(後期)
-----	---------	----------	-------------------------------	-------	----------

	前期指導案		後期指導案	
(年間 4回 2回) 授業日	4月		10月	
	5月		11月	29
	6月		12月	2 6 9 13 16 20
	7月		1月	13 17 20 24 27
	9月		2月	
方授 法業	( 講義 ・ 実技 )		( 講義 ・ (実技) )	
授 業 内 容	<p>一年生の後期前半で得た技術力をベースに、今度は、自身が何を今後制作していきたいか、自身をみつめ、興味あることを伸ばし、新しい発想や可能性を探り、視野を広げるべく、リサーチも同時に行いながら、課題制作を進める。</p> <p>課題制作 N-1 学生の興味や時代を見ながら課題を決定する。 リサーチ この課題制作に基づき、課題に対するリサーチを行う。 スケッチ 制作におけるアイデアスケッチやテクニカルドローイングを行う。</p> <p>スケッチミーティング 随時、学生一人ひとりとアイデアについてミーティングを行う。</p> <p>1/27 クラス講評</p> <p>リサーチなどを共有し、またクラス講評では、作品発表について実践し、他の学生らと意見交換を行う。</p>			
到達 目標	<p>学生の興味、特性を生かし各々のホットワークとの関わりを模索していく。またクリエイティブなアイデアを発展させるべくスケッチやリサーチを進め、2年次に向け、自身の作品作りのベースを築く。また作品を完成させ、空間の中で展示することを学ぶ。</p>			
成績 基準 評価	<p>出席率/授業態度、授業への取り組み方/提出物/課題に対する捉え方、アイデア出し、作品スケッチ/リサーチに対する取り組み/課題作品の展示/完成度や出来映え、アイデアの言語化 等。</p>			
留意 事項				